HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Support+HISHO！ 北海道大学医学部図書館における「がんばらない」秘書向け講習会の取り組み
Author(s)	川村, 路代
Description	第32回医学情報サービス研究大会（札幌, 2015年7月18日-19日）ポスターセッション（19日） http://mis.umin.jp/32/program/index.html#both01
Issue Date	2015-07-19
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/59759
Type	conference presentation
File Information	P-06-poster.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

Support PLUS HISHO!

北海道大学医学部図書館における「がんばらない」秘書向け講習会の取り組み

川村　路代（北海道大学附属図書館）mkawamura@lib.hokudai.ac.jp

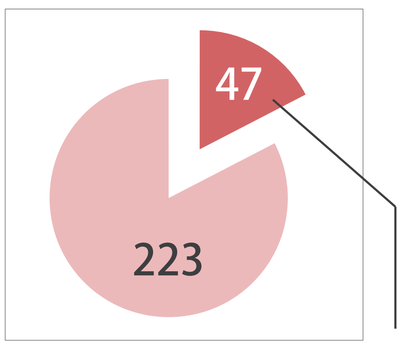
本学医学部図書館では文献の入手・管理業務を担当する秘書のスキルアップと教員の迅速な文献の入手を狙いとして、文献探索講習会を開催している。申込に応じて開催する少人数制の講習会であり、開催側の負担感が少なく、参加者のレベルに合わせられるのが特徴である。企画・広報・実施内容・結果について報告する。

背景と目的

背景

医学部では教員に代わり秘書が文献の入手業務を担うことが多いが、秘書の多くは文献検索や図書館の利用に不慣れである。

平成 25 年 4 月 1 日～ 7 月 18 日の本学ウェブシステムを利用した ILL 依頼件数（ 校費指定 ）のうち、17% は学内で電子ジャーナルや製本雑誌が利用可能であった。



オンライン ILL 依頼 (校費) のうち
EJ・製本雑誌利用可能な文献の割合

他大学からの取り寄せ不要

そこで、平成 25 年 8 月に秘書が文献入手の方法を学ぶための講習会を開催した。好評だったため、いつでも受講できる通年開催とした。

目的・期待される効果

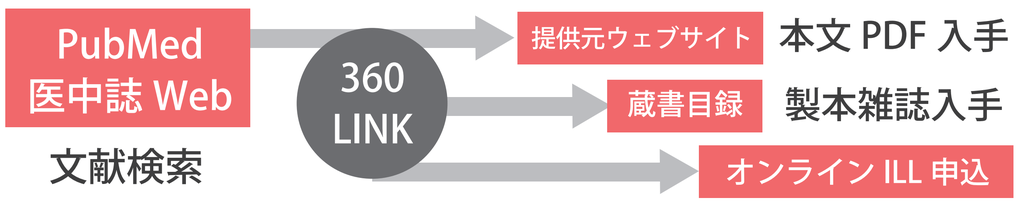
秘書　　＝スキルアップ
教員　　＝文献の早期入手
図書館員＝誤依頼の減少による ILL 業務量の低減
　　職員のリテラシー教育スキル獲得

実施方法

内容

資料は SlideShare にて公開しています
http://www.slideshare.net/michiyochiba96/201504-49712249

教員から指示された文献を入手する際のプロセスに限定



形式

時　間	30 分
人　数	個人 or 少人数
場　所	研究室へ出張 or 事務室
形　式	実習
広　報	チラシを研究室ポストへ
開催日時	申込に応じて
申　込	図書館 HP のフォーム※から
当　日	資料の印刷のみ

最近は事務室での開催がほとんど

事前アンケート「文献を探す際に難しいのはどんなこと？」なども

特徴

参加しやすい秘書

参加しやすい
- 都合のよい日時に開催
- 30 分と比較的短時間

質問しやすい
- 他に参加者がいない

キャンセルになった文献を探してみたい
インパクトファクターの調べ方を教えて
EndNote の使い方を教えて

がんばらない図書館

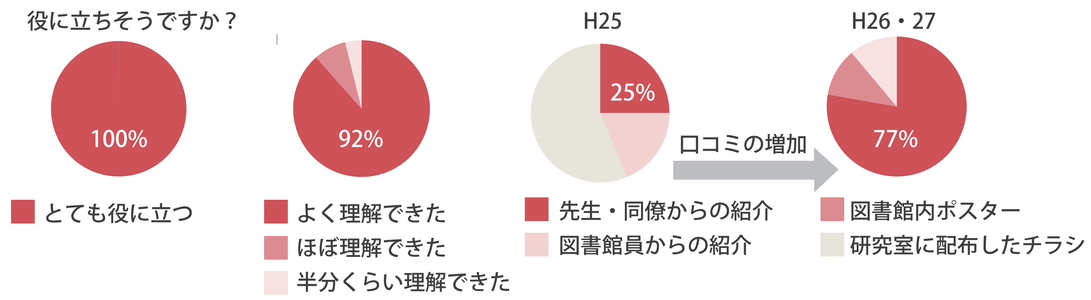
不要
- 会場の確保、設営、受付
- 大がかりな広報
- 集客の不安、大勢の前で話す緊張

ラクラク
- 事前アンケートで参加者のレベルを把握
- 資料さえ作成すれば業務上の負担はほとんどナシ！

結果

開催回数とアンケート結果

H25	研究室 6 回 10 名	図書館 5 回 6 名
H26	研究室 0 回	図書館 4 回 5 名
H27	研究室 0 回	図書館 3 回 4 名 (6/15 現在)
計	研究室 6 回 10 名	図書館 12 回 15 名



【秘書さんの声】「丁寧に教えてもらってよかった」「オンラインで文献複写を申し込めるのを知らなかった」「リンクリゾルバは今まで知らなかったけど便利」「他学部から文献を取寄せできるサービスは知らなかった」

ILL 申込状況

講習会開催のよって以下のような変化があった。

- リンクリゾルバを通して申し込むことで、文献情報が正確な申込が増えた
- 手書きの申込用紙で依頼していた秘書から「タイトル等を転記する手間が省けてうれしい」との声が聞かれた

しかし、秘書が入手可能な文献の ILL 依頼の割合は、ほとんど減少しておらず (H25：18%→H26：17%)、秘書全体のスキルアップという目標が達成されたとは言いがたい。

その他

- 講習会後も「図書館の川村さん」と文献入手以外の相談も
  ⇒秘書業務のトータルサポート・互いに円滑な業務へ
- パッケージ化された講習会に個人に寄り添う視点を加えたことで司書と秘書とのよい関係が生まれた

今後の展望

- 新任秘書への継続した実施
- 講習会受講後も誤依頼の多い秘書へ再教育の検討
- 学生向け講習会への派生？

※秘書さんのための講習会ウェブページ http://www.lib.hokudai.ac.jp/med/guidance/hisyo-3/